



**2**  
【特集 1】  
就職サポート



**3**  
【特集 2】  
就職活動レポート  
藤田 純平さん  
社会福祉学科 社会福祉専攻  
鎌田 亜沙美さん  
社会福祉学科 介護福祉専攻



**4**  
【特集 2】  
就職活動レポート  
伊出 隆祐さん  
福祉経営学科  
永井 礼桜奈さん  
保育学科

**5**  
【ゼミナールインタビュー】  
矢野 宏光ゼミ



# カタリナ ひろば

Vol.22 No.2  
2010.03

聖カタリナ大学  
聖カタリナ大学短期大学部  
[www.catherine.ac.jp](http://www.catherine.ac.jp)



**6**  
【教員 ESSAY】  
聖カタリナ大学  
ルーツの国スペインへ  
人間健康福祉学部 宮武 信枝



**7**  
【Campus News & Topics】  
韓国の慶北科学大学と  
国際交流協定を締結しました  
高校1・2年生、  
保護者対象説明会を開催しました!!  
いざみ寮送別会を行いました!!



**7**  
【サークル紹介】  
はっぴーデザイン  
社会福祉学科4年 角藤 純さん

**8**  
【在学生が語るキャンパスライフ】  
神崎 佑也さん  
社会福祉専攻  
大野 勇輔さん  
福祉マネジメント専攻



# 特集 1 就職サポート

聖カタリナ大学就職課では、職務適性検査はもちろん、就職試験対策講座や学内での就職説明会など就職活動をバックアップするさまざまなプログラムを用意しています。将来の職業選択に備え、自信を持って就職活動に臨めるよう、きめ細かなサポートを行っています。

## 大学3年生・短大1年生対象の 学内合同企業説明会を開催!!

1月15日(金)、就職課では一般企業への就職を希望する大学3年生・短大1年生を対象に、学内合同企業説明会を開催しました。愛媛県内17社の企業様をお招きし、ブース形式で本学の学生に企業の紹介をしていただきました。

この企業説明会では1日で幅広い業種を訪問することができ、面接と違いリラックスして人事担当者からホンネの話を聞くことができました。

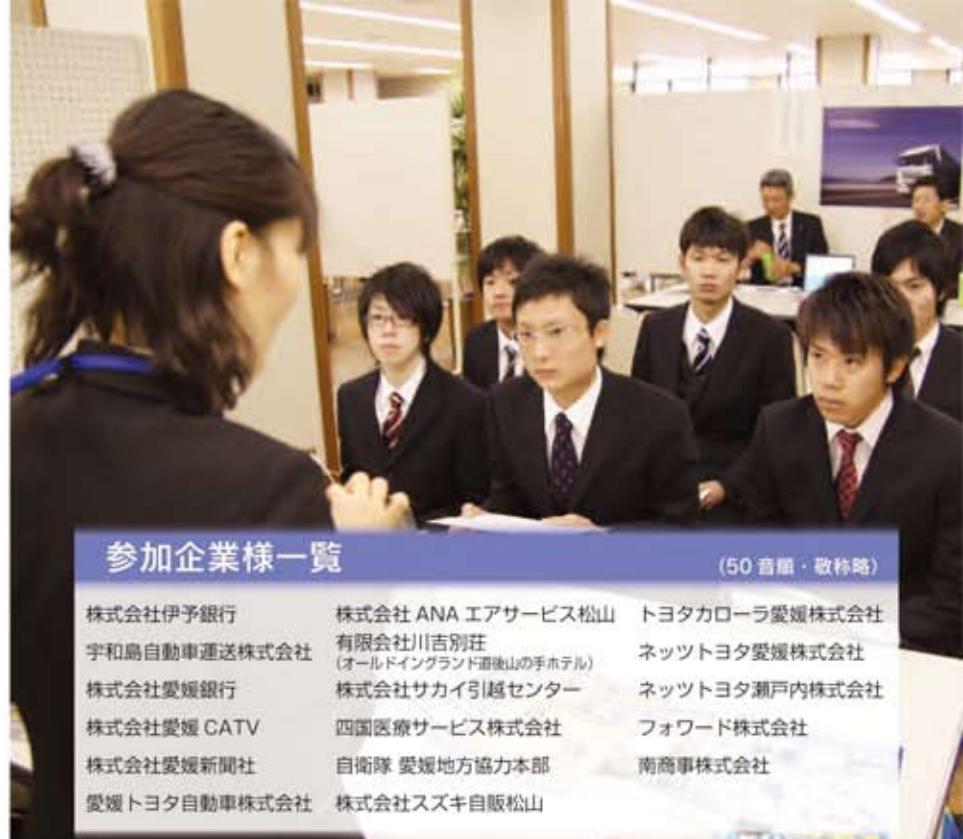
### <参加した学生の声>

「就職したい業種や業界以外にも自分に合う会社を見つけることができた。」「ホームページでは得られない情報を知ることができてよかったです。」「今まで考えていなかった企業にも関心ができ、企業選択の視野が広がった。」「いろいろな企業を同時に見ることができて比べられることがよかったです。」

## 学生一人ひとりの適性や状況に 合わせた模擬面接講座を開講!!



1月7日(木)、大学3年生を対象に就職採用試験に向けた模擬面接講座を開講しました。就職ガイダンスでお世話になって



### 参加企業様一覧

(50音順・敬称略)

株式会社伊予銀行	株式会社 ANA エアサービス松山	トヨタカローラ愛媛株式会社
宇和島自動車運送株式会社	有限会社川吉別荘 (オールドイングランド道後山の手ホテル)	ネットトヨタ愛媛株式会社
株式会社愛媛銀行	株式会社サカイ引越しセンター	ネットトヨタ瀬戸内株式会社
株式会社愛媛 CATV	四国医療サービス株式会社	フォワード株式会社
株式会社愛媛新聞社	自衛隊 愛媛地方協力本部	南商事株式会社
愛媛トヨタ自動車株式会社	株式会社スズキ自販松山	

いる就職情報会社の担当者が面接官となり、グループ面接を想定した模擬面接を実施。面接におけるマナー、質問に対する考え方など、本番で役に立つ面接指導を受けることができ大変好評でした。

## 愛媛マンダリンバイレーツの インターンシップに参加!!

このインターンシップのミッションは、愛媛マンダリンバイレーツのファンを増やすことです。球団の魅力を知り、その上でスポンサーやボランティアスタッフなど仲間となってくれる人を開拓します。運営に関する企画の検討、商店街や大学など人がたくさんいる場所でボランティアスタッフ募集のチラシ配りもします。学生は、インターンシップでの活動を通じ、普段なかなか触れることができないスポーツビジネスの現場や球団づくりに参加することができます。

### <インターンシップとは・・・>

在学中に学生が、自分の専攻や将来のキャリアと関連した就業体験を一定期間行なう制度のこと、「働く」経験を通じ、自らの勉学や研究の理解に役立てることはもちろん将来の職業選択の判断材料とするなど、職業観および適応力などを養います。



学生食堂でボランティアスタッフを募集

## 今求められる人材

バブル崩壊後の長期不況の中、多くの日本企業が「成果主義」を導入し、短期的で数値重視の経営へと変貌していきました。そこで求められた人材とは、短期間で業績を生み出す“即戦力”でした。今再び厳しい不況を迎え、かつて日本企業が誇った「育成」の文化を取り戻そうとの動きが出ています。さらに成果ではなく、組織への「貢献度」を多面的に評価する方向へと向かっているようです。

これから企業が求めるのは、将来的成長が期待でき、配属された場所でつねに貢献できる人材でしょう。学生時代に、仲間と目標を共有し、努力や工夫を重ねて自分の使命・役割を全うできた経験を持つ人間は、企業にとって大変魅力的な存在です。学問だけでなく、キャンパスで過ごす時間のすべてが、人材育成につながると言っても過言ではありません。

株式会社ディスコ 日経就職ナビ 広島支社 支社長 潟田平 隆



## 特集2 就職活動レポート



気になることがあれば、  
とにかく就職課に  
足を運ぶことを  
お勧めします！

社会福祉学科 社会福祉専攻  
藤田 純平さん  
内定先：株式会社トーカイ



介護職として  
現場の即戦力になりたい！  
施設長の介護に対する  
思いに惹かれ  
決めました！

社会福祉学科 介護福祉専攻  
鎌田 亜沙美さん  
内定先：特別養護老人ホーム  
なかやま幸梅園



### Q. その職場を志望した理由

私は一般企業の就職を最優先として、就職活動を進めてきました。合同企業説明会や企業訪問などで、トーカイという会社を知っていくうちに「人あたりが良く、働きやすい環境」と感じ、この先も一生を共にする仕事なので、そこが何よりの魅力となりました。また、4年間学んだ福祉の知識を活かすことができ、転勤も四国内が中心というのも大きな魅力であり、この職場に決めました。

### Q. 就職活動中の苦労や工夫したこと

苦労したことは、履歴書やエントリーシートなどに、自分の思っていることを文章に書き表すということです。字数制限や、自分色の内容を表現することには苦労しました。最初の段階で足切りをする企業も数多くあると聞くので、前もっての取り組みが大事だと思います。

そして何度も就職課に足を運ぶことです。それにより、就職活動の要領が把握でき、落ち着きを持って就職活動に臨むことができます。その甲斐もあり3社から内定をいただくことができました。就職課の方たちは、間違いなく自分の力となってくれるので、どんな細かいことでも気になることがあれば、とにかく就職課に足を運ぶことをお勧めします。

### Q. 後輩たちへのメッセージ

とにかく、就職活動に関しては早めに行動を起こすことです。就職氷河期と言われるこのご時世こそ、早めの行動により自分に見合った企業が見つかり、また、将来に繋がる就職活動を送れることだと思います。

また、息抜きも大事だと思います。私も、高校まで続けていたサッカーやフットサルで汗を流すことにより、リフレッシュして就職活動に臨めました。頑張ってください。

### Q. その職場を志望した理由

介護福祉実習の第3期実習で、なかやま幸梅園で実習をさせてもらうことになりました。施設の中の雰囲気や、職員の方の優しい接し方など約1ヶ月の実習のなかで、なかやま幸梅園の良いところを知ることができました。私自身、介護職として現場の即戦力になりたいと思っていましたし、施設長にも何度も誇ってもらいました。私は、正直もう1つの施設と迷っていましたが、施設長の熱心な介護に対する思いに惹かれて、なかやま幸梅園に就職しようと決めました。

### Q. 就職活動中の苦労や工夫したこと

実習で行かせてもらった施設で自分が就職したいと思ったら、1週間に1回や2週間に1回などボランティアに行かせてもらい、就職活動をしました。ボランティアに行けば職員の方にも顔を覚えてもらういい機会なので、絶対に行ったほうがいいと思います。もちろん、他の施設も見てみようと思い、大学で行われた福祉就職説明会など、いくつかの説明会に参加しました。説明会に参加して良いと思った施設は、1回ボランティアや施設見学もしたほうが施設の雰囲気もつかめると思います。説明会で良いと思った所でも、実際に施設見学に行ってみると、自分が思っていた施設とは違うこともあるので、必ず行ってみてください。自分の目で見てみることが大切だと思います。

### Q. 後輩たちへのメッセージ

最初は全然就職課に行ってなかったのですが、友達が行っているのを見て、私も就職課に行って就職の相談をするようになりました。就職課の職員は、たくさんの施設、企業に対する知識を持っていて、とても参考になる話やアドバイスをしてくれます。何もわからなくても、とりあえず就職課に行ってみてください。とても優しく、時には熱心に指導・応援をしてくれます。たくさんの人を味方に付けて（就職課の職員や先生）、自分に合った就職先を見つけてください。

## 特集2 就職活動レポート



福祉経営学科  
**伊出 隆祐さん**  
内定先：(株)よんでんライフケア  
アミーユよんでん道後



多くの会社説明会に参加し  
積極的に採用試験を  
受けて欲しい！



保育学科  
**永井 礼桜奈さん**  
内定先：慶應幼稚園



子どもたちの未来の  
力になれるような、  
いつでも明るい  
「礼桜奈せんせい」に！

### Q. その職場を志望した理由

元々介護職を目指しており、昨年は1ヶ月間特別養護老人ホームに実習に行き介護の現場を体験しました。私は、自分の理想とする介護形態の施設を探すため、施設の合同説明会や数か所の施設訪問をしました。その中で、アミーユよんでん道後の社風や雰囲気、入居者主体の介護体制に魅力を感じ、そこに就職を決めました。

### Q. 就職活動中の苦労や工夫したこと

苦労したことは履歴書です。自分の考え方や長所短所を文章にするのにとても苦労しました。施設の方に分かりやすく伝えるために言葉を選び、よりよい文章を書くために就職課へ毎日のように通っていました。

工夫したことは行きたい会社に直接訪問したことです。合同説明会で何社かピックアップし、社員や職員の方の生の声を直接聞くことで、会社の概要だけでなく更に深い理解ができました。

### Q. 後輩たちへのメッセージ

できるだけ多くの会社説明会に参加し、積極的に採用試験を受けて欲しいと思います。数をこなせば、採用試験独特の雰囲気にも慣れてくると思います。介護職を目指している人は社会福祉士やホームヘルパーの試験の準備も早めにしたほうがいいと思います。そして、就職課を有効に使ってほしいです。

### Q. その職場を志望した理由

幼いころから幼稚園教諭になるのが夢で保育学科に進学し、実習や勉強を重ねるたびに幼稚園教諭になりたい！と改めて強く思うようになりました。就職先を探していた時、慶應幼稚園の園長先生の講話に参加させて頂き、そこで園のことを知りました。園児一人ひとりが持っている力を最大限に引き出し、新しいことにもどんどん取り組んでいる慶應幼稚園にとても魅力を感じました。子ども達はたくさんの可能性を秘めていると思います。子ども達の未来の力になれるような、いつも元気で明るい「礼桜奈せんせい」に、慶應幼稚園でならなれると思い志望しました。

### Q. 就職活動中の苦労や工夫したこと

松山市で就職したいと考え、就職活動をしていたのですが、地元が松山市ではなく、実習も地元だったので、求人票を見てみてもどんな園があるのかなどわからず苦労しました。そこで先生や就職課の方に相談したり、実習に行って友達に園の様子を聞いたりしました。先生や就職課の方に相談していたことで、求人がきたことをその都度連絡してくれたり、自分に見合った就職先を紹介して頂いたりしました。わからないことや不安なことをそのままにせず、まずは積極的に先生たちに相談してみるといいと思います。

### Q. 後輩たちへのメッセージ

保育学科は実習などもたくさんあり、大変なことが多いと思いますが、早め早めに就職活動を始めるをお勧めします。見学や、ボランティアに参加するのも、ぎりぎりにしようと思ってもできません。求人票を見ていいところをみつけても、知らないところだと志望動機なども書きにくくなってくると思います。わからないことは先生や先生、就職課の方に聞いてみてください。とても親身になって、相談に乗ってくれますよ！焦って後悔しないよう、いい就職ができるよう、頑張ってください。

# ゼミナール インタビュー



矢野 宏光 ゼミ

## ゼミのテーマを教えてください。

### 「健康心理学」「運動心理学」「スポーツ心理学」

スポーツ、身体運動、身体活動を通して、それを行う人の心理にどのような影響や恩恵があるかを研究します。

例えば、スポーツ心理学領域では、試合で練習時の力を十分に出し切れないのはなぜか、どのようにすればそれを克服し最高のパフォーマンスをあげられるかなどを探ります。運動心理学では、一般人が身体運動・身体活動を行うことによって、その気分がどのように変化するかなどを研究します。健康心理学では、さらに大きな枠組みでメンタルヘルスを向上させるための行動変容、健康政策まで研究領域が広がります。

## ゼミの特徴を教えてください。

専門知識の修得と同時に、社会に出るために必要なスキルや能力も育成することに重点をおいています。

大学ですから専門の知識を身に付けるのは当然ですが、その知識は活かされなければ何の役にも立ちません。知識を人に伝え実践できるように、自らもその知識を体現できることを目指します。

## ゼミのスタイルを教えてください。

### 1. 講義

専門知識修得のための講義（少人数での講義形式で勉強します）。



## 矢野ゼミはこんなゼミ

矢野ゼミをひと言で表現すると「アットホーム」なゼミです。ゼミ生同士はもちろん、先生との距離感も近い。また、ゼミの同級生だけでなくゼミの先輩達との交流も盛んで、「同じゼミの仲間」というまとまりが強いですね。

授業はかなり本気モードです！専門領域の講義からはじめり、研究発表、プレゼンテーション、質疑応答、集団討議など、様々な内容や方法論を学びます。矢野先生の言葉を借りるならば、「社会に出ても困らない実践力をつけろ」です。ですから実際、「きたえられる感」はすごくありますよ。

でも、そんな先生もひとたび授業を離れるといつも以上に親しみやすいです。学生時代の体験談など興味深い話を伺いながら、改めて「先生にも学生時代があったんだあ」と不思議な感じがします。矢野ゼミでは学外の活動にも積極的です。スポーツ大会やゼミコンバ、ゼミ旅行など様々な活動（だいたい僕が企画・幹事します）が予定されています。いい先生といい仲間に恵まれて、矢野ゼミに入って大学生活はとても充実しています。

### 2. プレゼンテーション

健康心理学領域における主要なキーワードを抽出し、二人一組のペアに割りあてます。各ペアはそのキーワードについて専門書・論文などを多方向から検索し専門知識を深めていきます。



次に、プレゼンテーションソフトを用いて、そのキーワードについてのプレゼン準備を整えます。そしてゼミメンバーに分かりやすく説明（プレゼンテーション）し、質疑・応答を行います。

つまり、健康心理学領域において重要な専門用語についての知識修得、コンピューターを用いたプレゼンテーション資料の作成、発表、質疑・応答までの一連の過程を体験的に学習し、知識とスキルを身につけるようにしています。この作業は実社会に出た時に必ず役立つものです。

### 3. ディスカッション



集団でディスカッションスキルの向上を目指した演習を行います。プレゼンテーションでの質疑・応答に加えて、全員でディスカッションを行う機会を設けています。

話合いの場での役割の割振りからファシリテーションまでを自然に体験できることを目指しています。これは就職試験での集団面接や集団討論にも活かされることを期待しています。



# 聖カタリナ大学 ルーツの国スペインへ

人間健康福祉学部 宮武 信枝

¡Hola! (オラ) —— 2009年9月3日夜、7時間の時差と乗り越えて16時間余の空の旅という長い1日の終わり、景色と喜びに疲れも吹き飛ばしたら5人の学生といよいよマドリッドに到着、12日間のスペイン社会福祉・文化研修プログラムが始まりました。

聖カタリナ大学は、本学ルーツの国スペイン北部にあるレオン大学と、2005年9月に相互協力協定を結んで以来、国際交流委員会とレオン大学社会福祉学部の協力による「国際福祉論」履修を主としたスペイン海外研

修を毎年企画、募集してきました。費用の問題もあって、これまで大学として催行できる人数の学生が集まりませんでしたが、厳しい経済情勢の中で奮起された学生と保護者の方にも励まされ、新型インフルエンザへの警戒も検討しつつ、ついに第1回スペイン研修旅行が実現できたのです。楽しくチームワークもよいグループとなり、初の海外旅行でパスポート取得から準備を始めた学生たちも、帰国するや「スペイン大好き！また行きたい、老後には住みたい！」というほど。

今回のプログラムは、レオン拠点の社会福祉研修に加え、限られた日程の中でスペインの歴史と文化に触れるよう、世界遺産としても有名なサンティアゴ巡礼道にあるレオン市内ではカテドラル、サンイシドロ、サンマルコスの各教会、プラサマヨールの野外市場、隣のアストルガ市では司教館(サグラダファミリアで有名なガウディ建築の現・巡礼博物館)、マドリッドではプラド美術館とレイナ・ソフィア近代芸術センター(ピカソの「ゲルニカ」等)、近郊の世界遺産ではセゴビア(城、水道橋)、トレド(カテドラル等)の見学を含めました。マドリッド滞在中は日西文化協会の吉村会長ご夫妻が温かく家族的で適切な指導と案内をしてください、レオン大学社会福祉研修も、副学部長で社会福祉宣教会のシスター・マリア・ヘススはじめ先生方が、寮・特別講義・見学

先等すべてよく準備してくださったお陰で、今後の展開に向け充実した第一歩を築くことができました。一般的のツアーやテレビでは見られない本学ならではの見学コースを挙げると——レオン県立アストルガ障害者職業センター、アストルガ教区カリタス重

度障害者センター、国立障害者情報研究センター、自治州立高齢者・デイケアセンター、レオン市立老人ホーム、レオン市民総合センター(「社協」と「コミセン」)、レオン刑務所(社会復帰施設)、アルソハイマー家族連合会デイケア施設、

乗馬療法センター——ということになります。もちろん大学キャンパスと本部を訪問し、学長ホセ・アンヘル・エルミダ・アロンソ氏は交流促進の支援策を示されました。この間、特別講義「スペインの社会福祉学・ソーシャルサービスと社会福祉制度・社会福祉専門職組織」も含め、先生方と施設の方々が随時引率と一緒に尽力、歓待してくださいました。ホスピタリティに、みな感謝感激。修了証書を受けてレオン最後の晚、ちょうど本学の母体である修道会の国際研修で滞在中の総長はじめ50名ほどのシスターたちと

レオン修道院で会食・交流した後、カテドラル夜景を鑑賞、翌日の市内見学後マドリッドに戻って一泊し、帰国の途に着いたのです。

さて、こうして旅程を振り返ると、慌しく駆け回って終わったように思われるかもしれません。とにかくよく歩き、景色・建物もよく見、買い物やスペイン料理・「バル」の文化も存分に楽しみました。しかし、学生たちは日本とは違う文化や環境に触れながら伸び伸びとかつて真剣に学び、スペインの人々の温かい人柄に支えられ、人生で忘れられ

ない出会いと体験に恵まれた確信を抱いて感謝しています。また、挑戦してみることの大切さ、「すべてが観光であり、勉強であり、研修であった」体験をここで終わらせてはいけない、今後の大学生活にも生かし、未来へつなげていきたいと考えています。4年ぶりでスペインを旅した私も、思えば以前3年足らずの滞在中の体験があつての今です。今回は訪問できませんでしたが、修道会の原点と現在を結ぶ特別な印象を受けた「ドミニコ会的な」場所、聖ドミニコの故郷カレルエガとマドリッド「聖マルチンの家」、そこで肌で感じた「祈りと活動」など、スペインの人々の人格的な感性・精神性は忘れ得ません。一方、レオンの人々も私を思い出してくださいました。驚いたのは、社会福祉学部の階段で出会ったアンヘルという学生で、「きみのことを覚えている、いくつかの科目で一緒に勉強した」と声をかけてくれました。その午後私たちを引率された社会学の先生(教区司祭)が、傍からにこやかな顔で「彼はワルだぞ！」と口を挟みます。なるほど、あの頃一年生、食ってかかる口調で先生を困らせていましたし、もう既に卒業しているはずですが…。特に近況も聞けずでしたが、当時不安げでぎらぎらした目だったアンヘルが、確かに深く落ち着いた眼差しの好青年になっていたのです。帰国後11月下旬、本学男女共学一期生の卒業生に会ったときも、同じような印象を受けました。

学生たちは、人生の貴重な出会いと体験を——時には自ら挑戦し、また時には自らは望まないかたちで——日々重ねながら成長しています。今回のスペイン研修旅行でも、私は学生それぞれに、何か頼もしい希望を感じて帰っていました。学生の中の実りが、聖書にあるからし種のように、パン種のように、一人ひとりの人格からよりよい社会の建設へつながるよう祈りながら。



レオン大学学長、社会福祉学部副学部長とともに



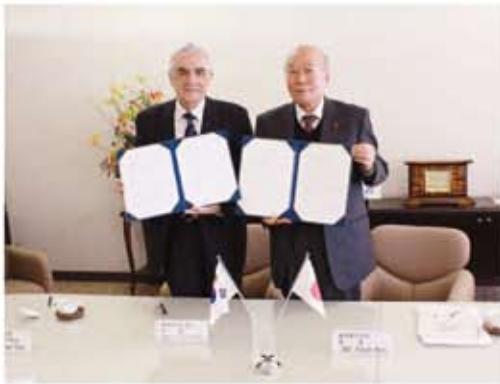
アストルガ教区カリタス重度障害者センター

## 韓国の慶北科学大学と国際交流協定を締結しました

【12月8日(火)】

聖カタリナ大学は、12月8日(火)に韓国の慶北科学大学と国際交流協定を締結しました。慶北科学大学とは、教育の国際化を目的とし、両大学間の文化的繁栄、学術的進歩、及び両国民の友情の総合を強めるために、相互協力協定を取り交わしました。今後は、学生の交流、教員及び研究者の交流について推進していきます。

(慶北科学大学ホームページ <http://www.kbsu.ac.kr/>)



## サークル紹介 はっぴーデザイン

TABLE FOR TWO (以下TFT) という活動について紹介させていただこうと思います。このTFTという活動は開発途上国の飢餓の問題と先進国の飽食・健康問題という世界の食の不均衡を解消しようと2007年の秋にこの日本で始まった活動です。

私たち「はっぴーデザイン」というサークルではこの活動を全国に広めようと活動しています。みなさんも一緒にアフリカの子どもたちに給食と笑顔を届けませんか!?

社会福祉学科4年 角藤 純



### ◆ヘルシーランチで社会貢献を『テーブル・フォー・ツー』

聖カタリナ大学では、学生食堂でTFTメニューを食べると代金の一部がアフリカの学校給食に寄付される「テーブル・フォー・ツー」の取り組みが広がっています。

メニューは「はっぴーデザイン」のメンバーが考案し、低カロリーでヘルシーなところが人気です。2008年10月のオリジナルメニュー販売開始から、2009年末までに1,300食以上を販売しました。

## 高校1・2年生、保護者対象説明会を開催しました!!

【12月13日(日)】

12月13日(日)聖カタリナ大学・同短期大学部では、高校1・2年生やその保護者を対象に、大学説明会を開催しました。県内各地から、高校生や保護者の方々を合わせて約60名のご参加をいただきました。

参加された方々からは、「大学説明会に参加して楽しかった。興味がわいた。」「パンフレットではわからないことなど、実際の話しを聞いてよく分かった。」「また来たい。オープンキャンパスにも行ってみたい。」など、嬉しい感想をいただきました。



## いざみ寮送別会を行いました

【2月1日(月)】

本学キャンパス内にある女子学生寮いざみ寮で、卒業生の送別会が行われました。寮生全員と教職員を含めた食事会、レクリエーションなど寮内は盛り上がりいました。卒業する学生にはキャンパスライフや寮生活の思い出を語ってもらいました。最後に、後輩から卒業する学生一人ひとりにケーキのプレゼントもありました。卒業生は寮生活を終え、それぞれの路に進みます。寮生活を通して培ったものを今後の生活に活かして頑張って欲しいと思います。



# 在学生が語る キャンパスライフ

神崎 佑也

Yuya Kanzaki

社会福祉専攻2年



## Q. 今、どのようなことを学んでいますか？

社会福祉と精神保健の分野に興味があったので、専門分野では精神保健福祉について学んでいます。大学では2年生からコース選択をするので、自分のやりたい分野を学ぶことができます。

## Q. サークル・学校活動はどのようなことをしていますか？

学友会に所属しています。学友会は高校でいう生徒会のようなものです。入学式、オープンキャンパス、クリスマス会などの行事では、学友会が中心となって活動します。また、現在3 on 3のバスケット部を立ち上げようとしています!!

## Q. 将来の夢や目標としていることは何ですか？

目標は、精神保健福祉士の国家試験に合格することです。将来の夢は、精神保健福祉士として利用者の方々の社会復帰の力になることです。

## Q. 聖カタリナ大学の好きなところを教えてください！

1・2年生ではクラスで行動し、3年生からゼミに分かれます。同じ学科の人はもちろん、他の学科の人とも話す機会が多いので、たくさんの人と仲良くなれます。



大野 勇輔

Yusuke Ono

福祉マネジメント専攻2年



## Q. 今、どのようなことを学んでいますか？

社会福祉、社会保障、児童福祉などの福祉分野はもちろん、ビジネスやマネジメントなどに関しても幅広く学んでいます。

## Q. サークル・学校活動はどのようなことをしていますか？

サークルはフォークソング部に所属しています。4人組バンド『Optical Flow』でリードギターを担当し、学園祭やライブハウスなどで活動しています。

## Q. 将来の夢や目標としていることは何ですか？

将来は、実習や大学の授業で学んだことを活かし、人に「ありがとう」と言ってもらえる仕事に就きたいです。

## Q. 聖カタリナ大学の好きなところを教えてください！

教職員や学生がとにかくみんな温かい!!先輩から実習に関するアドバイスを受けることができ、不安な気持ちがなくなります!!



学校法人 聖カタリナ学園

聖カタリナ大学

カタリナひろば vol.22 No.2

編集・発行

広報委員会

〒799-2496 松山市北条660

TEL (089) 993-0702 (代)

kouhou@catherine.ac.jp